

目 次

巻 頭 言

永尾 教昭

第 1 章 ベルリンの壁崩壊——取材ノートから——宮 隆啓 I

- 1 国を捨てる人たち I
- 2 東ベルリン 6
- 3 ベルリンの壁崩壊 10
- 4 東西ドイツ統一へ 15

第 2 章 「ベルリンの壁崩壊」の伏線にあった ハンガリーの環境保護運動——佐藤 孝則 22

- 1 ハンガリーの地勢 22
- 2 ハンガリーの環境政策 24
- 3 ドナウ川流域に浮上したダム建設計画と環境保護運動 25
- 4 穏健な社会主義国だったハンガリー人民共和国 30
- 5 政治問題化した環境保護運動 32
- 6 「ベルリンの壁」を崩壊させた「汎ヨーロッパ・ピクニック」 33

第 3 章 「記憶の場」としての オラドゥール・シュル・グラヌ——中祢 勝美 38 ——独仏の和解と EU について考える

- 1 独仏の和解と「記憶の場」 38
- 2 オラドゥール虐殺事件 40
- 3 戦後の新たな苦難——フランス国内の亀裂 49
- 4 ガウク大統領の歴史的訪問 54

第4章 EUの政治・経済統合と機構———浅川 千尋 60

——グローバル立憲主義化という視点から

- 1 EUと立憲主義化 60
- 2 EUの政治・経済統合とEU条約 61
- 3 「EU憲法条約」の挫折とリスボン条約 64
- 4 「EU憲法」構想をめぐる論争 66
- 5 EUの機構 70

第5章 移民大国フランスの葛藤———森 洋明 77

- 1 移民大国としてのフランス 77
- 2 植民地統治からみるアフリカへのまなざし 79
- 3 イスラム系移民とフランス社会との摩擦 85
- 4 共和国精神——同化と「ライシテ」 88
- 5 EU拡大とフランスの移民問題の今後 92

第6章 ヨーロッパの国際人権保障———関本 克良 98

- 1 人権の国際的な保障 98
- 2 欧州人権条約と個人通報制度 105
- 3 EU法と欧州人権条約との制度的パラレリズム 108

第7章 ドイツ・欧州の環境保護・脱原発——望月 浩二 117

- 1 ドイツの環境政策 117
- 2 EUの環境政策 135
- 3 欧州脱原発事情 137

第8章 欧州風刺地図と英国の独立精神———山本 真司 144

- 1 欧州風刺地図の伝統 144
- 2 国家を代表する貨幣の君主像 146
- 3 言説としての地図——ヨーロッパのイメージ 147
- 4 風刺地図にみるヨーロッパと英国 150
- 5 現代につながる風刺地図の伝統と英国の独立精神 153

第9章 ロシアと中央アジアにおける
労働力移動とジェンダーの変容——五十嵐徳子 158

- 1 ソ連解体と人々の移動 158
- 2 移民大国ロシア 159
- 3 中央アジア女性もロシアで働く 162
- 4 インタビューに見る移民の状況 163
- 5 やはり祖国・・・ 171

あとがき

執筆者紹介